

指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	厚別区市民部地域振興課(895-2442)
-----	-----------------	-----------	-----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市厚別西地区センター	所在地	厚別区厚別西4条4丁目10-1
開設時期	平成5年11月	延床面積	134,657㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、 その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	ホール、集会室(2室)、和室(2室)、実習室(1室)、図書室(1室)		
2 指定管理者			
名称	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団		
指定期間	令和5年(2023年)4月1日～令和10年(2028年)3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由: 当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数: 1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数: 1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

Ⅱ 令和6年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価			
1 業務の要求水準達成度						
(1)統括管理 業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定	▼夏場の和室の暑さ対策の要望に応え、自主事業収入より利用者還元として簡易エアコンを設置した。 ▼経費が嵩む大きな行事の見直しを図り、経費節減に努めた。また、利用者の高齢化を考慮し準備等も負担を減らす内容に改善した。 ▼施設の設置目的であるコミュニティ活動の助長及び生涯学習の振興を図るべく、厚西シニアカレッジの受講生を中心に学習意欲や自主活動の促進に繋げる事が出来た。 ▼窓口対応は親切丁寧を心掛け、防犯対策も兼ねて挨拶や声掛けを徹底した。	A	B	C	D
	平等利用の方針を含め、地域利用者に親しまれる、つながる施設となることを目的に以下の基本方針を策定した。 1. 市民の福祉の増進に努め、市民の公平な利用に供する管理運営 2. 施設の効用を最大限発揮し、設置目的に資する適切な管理運営 3. 住民のコミュニティ施設運営への参画、まちづくり人材の育成、まちづくり活動の助長を促進する管理運営 4. サービス水準の維持向上に努め、安定的かつ継続的なサービスの提供 5. 利用者や地域住民の声を常に把握し、施設の管理運営に反映する 6. 最小の経費で最大の効果を挙げるよう管理運営の効率化に努める	仕様書に沿って管理運営方針を策定し、適切な管理が行われており、要求水準を達成している。				
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績	障がい、世代を超え開かれた居場所づくり。 子どもからお年寄り、障がいの有無に関係なく利用いただけるような環境作りを心がけている。その時に応じて臨機応変に柔軟な対応を心がけ、利用者の方が不安なく安心して利用できるような体制。車椅子で行ける場所がないという児童デイの子たちを、読み聞かせ会に声掛けをし、場所をホールで実施して参加しやすいように配慮した。	▼昨年に引き続き、障害者差別に関する職員研修を実施し、日常の業務で障がいのある方との接遇や注意事項、また障害者差別解消法の概要を学んだ。 ▼目の不自由な方も来館されるので、声掛けや通行の妨げになるものがないよう配慮した。			

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

▼二酸化炭素排出量の削減

- ①未使用の部屋の照明・暖房等のオン、オフの確認の徹底。
- ②ブラインドの適切使用による冷房負荷の軽減。
- ③空調の効率的運転の実施。
- ④空調設備・電気・ガス機器の点検、適切なメンテナンス。
- ⑤駐車場におけるアイドリングストップの呼びかけ。

▼廃棄物の排出抑制

- ①効率的な印刷・コピー機等による紙使用の削減。
- ②紙リサイクルの促進。
- ③合成洗剤の使用を止め、環境への負担の少ない成分の洗剤に切り替え。

④未使用の鉛筆・古切手・ベルマークの回収。

古切手とベルマークは厚別通小PTAの方々に回収してもらっている。リングブルは、社会福祉協議会へ届けた。

⑤ゴミ減量とゴミ分別の徹底による廃棄物の排出抑制。

⑥フードドライブを実施し、ご家庭で食べきれない食材等を子ども食堂へ繋ぐ役割を担った。

▼館内各所に節電のご協力とお願いのポスターを掲示し、貸室使用後冷暖の切替をこまめにした。

▼OA用紙、文具事務用品、照明、トイレトペーパー等についてはグリーン購入ガイドライン指定用品を購入。

▼感染予防対策の意味も含め、ごみは各自持ち帰るようご協力いただきゴミの削減にも繋がっている。

▼回収ボックスの利用をセンターだよりなどでも呼びかけ、牛乳パックや古新聞の回収を積極的に努めた。

▼光熱費の削減に関しては、使用していない部屋の消灯や暖房の消し忘れがないかのチェックを徹底した。

▼フードドライブは、経済的虐待で食事が取れずにいる高齢者がいるので食品があれば分けて欲しいと介護予防を通して要請があった為、都度お渡しした。それ以外の寄付品は引き続き子ども食堂へ繋いだ。

▼ゴミ箱設置に関し、何度も吸い殻が大量に捨てられており、吸い殻は火事の危険性もあり、貼り紙や場所を事務所横に設置するなど対策を試みたが改善されなかった為、ゴミ箱を廃止した。サークル会議で理由を説明し、ご理解・ご協力いただけるようお願いし、ゴミの削減にも繋がった。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

職種	配置部署	職務	雇用形態	数
館長	事務室	統括・事務	常勤	1
副館長	事務・図書	事務・経理・図書	常勤	1
図書司書	図書	副館長兼務	常勤	1
事務	事務室	事務・講座	非常勤	4
図書	図書	図書・講座	非常勤	3
夜間事務	事務室	事務・講座	非常勤	5
清掃	全館	清掃・講座	非常勤	3

▼4月より館長・副館長が交代し新体制となったが、職員の協力意識が高くなり今まで以上に連携が取れるようになった。

▼体制が変わり、仕事の分担も変わった事で新たな担当を持ち、結果育成へと繋がった。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼仕様書に基づいた業務から逸脱しないよう、その都度確認し地域振興課と連携をとりながら職員の配置基準を厳守した。

▼研修計画に基づいて職員研修を実施した。

- ・5月 図書会(良い本はどんな本か、本の価値)
- ・7月 ハラスメント(ハラスメントの種類・実例)
- ・8月 防火管理者研修(火災から学ぶ安全管理)
- ・9月 図書スキルアップ(地域に即した図書館運営)
- ・10月 安全推進(職場の安全・衛生)
- ・10月 札幌市公式HPレベルアップ研修
- ・11月 図書スキルアップ(効果的な図書館の表現)
- ・11月 図書会(絵本専門士による読み聞かせ)
- ・11月 防犯訓練(不審者対応・護身術)
- ・11月 コンプライアンス(金銭管理・個人情報)
- ・11月 警防情報(防犯パトロール)
- ・12月 サービスアップ研修(カスハラマニュアル)
- ・12月 厚別区3館合同研修(まちづくり)
- ・1月 児童サービス研修(ゲームサービスのメリット)
- ・1月 EMS(札幌環境マネジメント)
- ・1月 個人情報(個人情報の必要性・事例)
- ・1月 障害者差別(共生社会の現実に向けて)
- ・2月 防災研修(札幌市の地震と対策)
- ・2月 カスハラ対策(行動パターンや対応例)
- ・3月 入職時研修(職業倫理他)

▼毎月1度、職員全員が集まり会議の中で業務について話し合いをおこなっている。必要に応じて、部署ごとの会議も行っている。

▼朝礼、夕礼を毎日実施。

その日の利用状況、翌日の利用状況の確認など情報を日勤と夜間で引継ぎ、必ず毎日共有できるようにしている。

▼今期はハラスメントを重点に置き、健全な職場作りと近年増えているカスハラ対策等を学ぶ機会を増やした。

▼図書は積極的に研修に参加し、スキルアップを目指した。
▼地域(町内会)で実施している講話や研修にも積極的に参加し、地域の方々と共に防災や防犯について学んだ。

▼不明な点は、独自で判断せずに地域振興課へ情報共有し、指示を仰いだ。細かい内容も情報共有し、地域振興課との連携をスムーズにはかれるような関係性を築けるよう努めた。

▼仕様書はすぐ読める場所に用意し、逸脱しないよう内容を都度確認しながら、運営するよう徹底した。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

- ①機械警備業務
- ②自家用電気工作物保守管理
- ③自動ドア保守管理
- ④ボイラー設備保守管理
- ⑤消防設備保守管理
- ⑥舞台装置保守管理
- ⑦除・排雪業務
- ⑧一部定期清掃
- ⑨エレベーター保守管理
- ⑩緑地管理業務
- ⑪予約システム運用業務
- ⑫建築設備定期検査業務
- ⑬昇降機保守点検業務

・仕様書に定められた作業内容・回数を遵守し、報告書等は保管している。

▼施設も築30年を超え、保守点検で度々指摘を受ける事が増えてきた。都度、業者や地域振興課と情報を共有しながら安全に配慮しつつ適正な修繕や補修に努めた。

▼築30年で樹木の成長も著しく、剪定はかなりの高額となる為、業者と相談しながら優先順位が高いものから順次剪定している。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 5月20日(月)	・令和6年度運営委員名簿 ・令和5年度 2月～3月事業報告 ・令和5年度 2月～3月講座・地域交流事業報告 ・令和5年度アンケート調査結果 ・令和6年度 講座・地域交流事業計画 ・その他
第2回 9月9日(水)	・令和6年度 4月～8月事業報告 ・令和6年度 4月～8月講座・地域交流事業報告 ・令和6年度 9月以降講座・地域交流事業予定 ・その他
第3回 12月11日(水)	・令和6年度 9月～11月事業報告 ・令和6年度 9月～11月講座・地域交流事業報告 ・令和6年度 12月以降講座・地域交流事業予定 ・その他
第4回 3月12日(水)	・令和6年度 12月～2月事業報告 ・令和6年度 12月～2月講座・地域交流事業報告 ・令和6年度 3月以降講座・地域交流事業予定 ・その他
＜協議会メンバー＞	
厚別区地域振興課 3名、厚別西まちづくりセンター所長、厚別西町内会連合会会長、厚別西厚信会会長、厚別区更生保護女性会委員、民生委員・児童委員、サークル所属(2名)、紙袋ランタン実行委員長、厚別西地区センター館長・及び副館長 13名	

▼貸室の空室の都合上、サークル代表の方のサークル活動日と運営協議会が重なる事もあった。参加してもらえるように早い段階から予定を伝え、調整できるように配慮した。

▼色分けやグラフを活用するなどして、できる限り分かりやすい資料作りを心掛けた。

▼サークル代表で出席してもらっている方々からは、サークルメンバーから上がっている様々な意見等を共有していただき、運営の参考とした。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団北海道事業本部で、指定管理を受けた札幌市のコミュニティ施設の経理処理方法を統一している。

▼指定管理業務に係わる収支については、独立した帳簿及び預金口座で管理している。

▼入出金が発生する度に、当日出勤の2人で金額を確認し、不正や間違いがないような管理体制を徹底している。

▼現金等の管理も不適切な扱いとならぬよう職員にも指導を徹底し、適切な管理水準を満たすようにした。

▼毎日、過不足が発生しないよう出納と金種を照らし合わせ、金額を確認し、記録している。月末には責任者が再度チェックを行っている。

▽ 要望・苦情対応

▼館内に意見箱を設置し、利用者の要望・苦情受付を書き込んでもらう体制をとっている。

▼「利用者の声」用紙には、回答を希望するか、否かについて意思表示できるようにしており、内容は必ず職員が目を通し、話し合い改善に向けている。

▼必要に応じ札幌市に報告、相談し、指示を仰ぐようにしている。

▼窓口業務において、気軽に何でも相談できるよう普段から積極的に声掛けを行い、利用者と職員の信頼関係を築き、実際に相談を受けた際には行政や民生委員などと連携し適切な対応を実施している。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

▼日常業務に関しては、勤務した職員が日報を作成している。

▼11月に利用者アンケートを実施し、その結果を職員全員で共有し、館内にも掲示。指定管理者自己評価にも反映している。

▼利用者アンケートの要望については、回答を載せて対応を出来るものはすぐに実施している。

▼講座・地域交流事業の際に参加者に対してアンケートを実施し、その中で参加者の満足度・要望・意見を集め、次の企画の参考にしている。

▼札幌市に対する報告書の提出は定められた形を遵守して実施した。

▼各種規定、報告書・収支関係書類・経理関係書類等は定められた保管期間に従い保管している。

▼令和6年度に受けた検査
実施検査 令和7年1月23日、2月26日

▼月に1度同団体が運営する指定管理6館が集まり、経理会議を実施。月報の相互監査を毎月実施している。

▼定期的に金銭取扱いに関する研修を受け、適切な管理体制を徹底した。

▼1日の中でも何重かのチェック体制を徹底し、過不足などが発生しないよう管理を徹底した。

▼普段から利用者とコミュニケーションを心掛け、寄り添った対応を心掛けている。積極的に声掛けをし、日常の声にも耳を傾けて細かい要望や意見も職員間で共有し、改善出来る部分は都度改善に努めた。

▼地域振興課からの調査や必要提出物は速やかに回答し、不備や修正の指摘にも都度速やかに対応した。不明な点は自己判断せずに地域振興課へ相談し、適切に対処するよう努めた。

▼利用者からの意見は職員間で共有し、真摯に受け止め結果は館内に掲示することで誰でも閲覧できるようにした。

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) ▼雇い入れ時に健康診断の提出を厳守している。 ▼1年に1回定期健康診断を実施した。 ▼職員一人一人のヒアリングを実施し、現在の雇用内容や日常業務での困りごとなどかかないかを聞き取りし、改善に努めた。 ▼公正な業務執行を確保するため、内部通報制度を設け通報者や調査協力者が不利益な扱いを受けない様、法令に基づき不利益取扱いの禁止や秘密保持の徹底を図っている。	▼必要に応じ、産業医との面談や聞き取りを行い本人の体調や事情に応じてシフト調整などを行った。 ▼安全推進の研修や配布資料を回覧し、職場環境の快適さや充実度を高めた。 ▼昨年度に引き続き有給消化率は全員100%となった。	<table border="1"> <tr> <td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr> <td colspan="4">労働関係法令を遵守し、適切な雇用環境の維持向上に取り組んでおり、要求水準を達成している。</td></tr> </table>	A	B	C	D	労働関係法令を遵守し、適切な雇用環境の維持向上に取り組んでおり、要求水準を達成している。			
A	B	C	D								
労働関係法令を遵守し、適切な雇用環境の維持向上に取り組んでおり、要求水準を達成している。											
(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) ▼利用者の安全については、館内・館外周辺に利用者の安全を脅かす状況がないかをチェックしている。 ▼拾得物扱いについては、台帳に日時・場・特徴などを記載し職員全員がわかるようにしており、いつ問い合わせがきても対応できるようサービス向上を努めた。また、引き取りが来ない拾得物については年に数回、館内に展示し、持ち主がみつかるよう努めている。 ▼損害賠償保険は、対人保障1人につき1億円、1事故につき4億円のコースに加入。また「厚別西地区センター」として講座・事業参加者のレクリエーション保険に加入。 ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ▼警備・保守点検、定期清掃などは第三者委託により実施。 ▼日常の館内清掃及び建物周囲の整備、備品管理、修繕箇所は可能な限り対応している。 ▼第三者委託先の決定は、各業務とも3社から見積もりを取り委託先を決定。また、業務の履行状況は現場確認及び点検結果記録書の提出などで確認。単発の業務については業務状況を写真で記録し、報告書を作成し提出している。業務履行に関しては各社と契約書締結、契約書内で法令順守を明記している。 ▼備品については、日常点検、清掃を実施するとともに備品管理台帳に基づき年1回点検を行い、数量及び使用可能状態を確認し点検記録簿を作成している。不具合については速やかに補修を実施。 ▼多目的トイレのトイレ呼出し設備の点検も毎日の点検項目に取り入れ実施、日報にチェック欄を設け報告事項としている。	▼目が届かない2階や1階トイレ周辺などは夜間を中心に職員の見回りを強化した。死角になるロビーは、カーブミラーを取付けて事務所から見えるよう対策した。館内には職員巡回中の貼り紙を増やし、犯罪抑止対策に努めた。 ▼1日の中で数回、駐車場を含めた館外見回りの時間を設け、保守管理に努めた。 ▼グリーンボランティアの協力により緑地を管理する事で、地域の景観を損ねないよう努めた。 ▼机や椅子は部屋ごとに色分けされたシールを貼る事で、各場所で個数等把握しやすいよう適切な備品管理に努めた。	<table border="1"> <tr> <td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr> <td colspan="4">仕様書に定めるとおり適正に実施しており、要求水準を達成している。</td></tr> </table>	A	B	C	D	仕様書に定めるとおり適正に実施しており、要求水準を達成している。			
A	B	C	D								
仕様書に定めるとおり適正に実施しており、要求水準を達成している。											

▽ 防災

▼利用者も参加型の避難訓練を実施。悪天候や冬季はロビーに避難誘導をした。職員の中でも役割分担を決め、誘導係や通報係など設定し実践した。避難訓練後は、外で消火器を使った消火訓練も行い多くの職員が実践した。救命救急講習は、毎年参加した事がない職員が順次参加している。

▼AEDはバッテリー充電状況、電極パッドの状態を毎日点検記録している。

▼防災

緊急時対応について、マニュアルの周知徹底を行っている。消火器の位置、避難誘導の経路など自分が勤務中に起こった場合の誘導方法などを各自がシミュレーションし万が一に備えている。

▼AEDは本体ごと4月から新たにリース契約をし、新しい物を設置した。バッテリー等期限切れがないよう目に見える位置に期日を添付した。

▼年2回の訓練の他町内が開催した警防情報会議にも出席し、防犯や防災について地域と連携して学んだ。

(4)事業の計画・実施業務

▽ 区民講座に関する学習機会の提供業務

	令和6年度計画	令和6年度実施
種 目	12	23
回 数	25	35
受講生数	142	229

講座名	募集人数	参加人数	達成率%	理解度%	満足度%
プラ板でアクセサリ作り講座	6	7	140%	125%	125%
アンチエイジング・ピラティス講座	10	20	222%	125%	125%
包丁研ぎ講座	6	6	120%	125%	125%
本の装備講座	6	4	80%	125%	125%
春の寄せ植え講座	8	8	114%	125%	125%
タイ料理講座	6	8	160%	125%	125%
陶芸体験	5	5	100%	125%	125%
筆ペンアート講座	10	13	144%	113%	103%
ためして！ウラ技 いっしょにやってみよう	10	6	67%	104%	104%
防災クッキング	3	3	100%	125%	125%
Let`s ZUMBA	15	29	207%	125%	119%
和菓子講座	12	11	100%	113%	113%
マリメッコペーパーで作る トートバック	10	13	144%	105%	115%
ヒンメリ講座	6	6	120%	125%	125%
ガラスドーム講座	7	3	50%	125%	125%
「くんせいしてみよう！」	6	6	120%	125%	125%
腸活！発酵食講座	10	7	78%	125%	125%
筆ペンアートでお正月カード講座	10	5	56%	125%	125%
手打ちそば体験講座	12	12	109%	125%	125%
保存袋でつくる味噌作り講座	11	11	110%	125%	125%
キムチを作ろう	6	16	320%	125%	125%
絵本に出てくるクッキーを作ってみよう	8	8	114%	125%	125%
カラダ軽やかアイス体操	30	22	81%	119%	119%

▼ピラティス講座は利用者から厚別でピラティスを習える場所がほしいとの声を受け講座を開催したところ、10名の募集に対し20名の応募があり急遽4回開催とした。継続を望む声が多くそのままサークルへと繋がった。

▼ZUMBAも開催を望む声が多く、15名の募集に対し29名の応募があった。会場をホールにして開催し、その後もサークルとして活動を継続している。

▼子ども向け、親子参加、運動、料理、趣味など多世代の色々な方に参加してもらえるように幅広い内容で講座を実施。利用者からの要望で企画される講座も多く、講師は地域の方や職員が担う事で講師料の節約に繋がっている。

▼利用者から要望があった講座は、応募も多いので今後もアンケート等で利用者の声を反映しながら計画していく。

A	B	C	D
＜区民講座＞ 計画した講座数・回数等を大幅に上回って実施しており、講座受講者から理解度、満足度ともに高い評価を得ている。多世代を対象にした講座や利用者の希望に応えた講座を実施しており、要求水準を達成している。			

▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務

	令和6年度計画	令和6年度実施
種 目	16	32
回 数	84	176
受講生数	3,038	5,497

事業名	参加見込み 人数	参加実数	達成率%
ふまねっと	240	409	213%
出張ふまねっと	30	34	142%
ぐるんばお話し会	110	168	191%
厚西ジム	426	500	147%
うたごえサロン	240	241	126%
フロアカーリング	160	155	121%
厚西食堂	60	46	96%
フォトサークル 「トルサ」作品展	300	400	133%
親睦麻雀大会	80	68	106%
フリーマーケット	3	76	117%
ふれあい健康フェスタ	40	30	94%
厚西シニアカレッジ(1期)	19	133	109%
厚西シニアカレッジ(2期)	20	161	67%
フロアカーリング大会	36	35	121%
ミニバレーボール大会	20	24	150%
卓球大会	24	20	105%
星空観望会	80	76	119%
町内ごみ拾い	20	11	69%
タイムスリップコンサート	130	135	130%
厚別通小学校社会科見学	63	63	126%
こども夏まつり	350	258	92%
厚別北小学校施設見学	90	88	122%
厚別西小学校施設見学	41	41	124%
図書まつり	100	213	266%
養護学校施設見学	24	24	126%
文化祭	220	200	114%
札幌養護学校 作品展(ロビー)	450	450	125%
ぬいぐるみお泊り会	10	4	50%
図書室お仕事体験	20	18	113%
3世代交流新春 カルタ大会	100	116	145%
あつべつ西紙袋 ランタンフェスティバル	500	800	200%
図書ロビー展示	500	500	125%

▼今年度は養護学校運営協議会に参加している繋がりから、初めて養護学校の生徒さんの作品展示をロビーで2週間行なった。施設見学に来た時のまとめや、迫力ある作品などを来館する方々は感心しながら観覧していた。学校側も今まで以上に地域との繋がりを模索している中、新しい試みとして保護者の方々からも非常に好評だったので、ご家族で見に来ている様子も見受けられた。

▼地域で読書意欲推進に向けて協力体制を作ろうと立ち上げた図書協議会を中心に、初めて図書まつりを開催した。宣伝も兼ねて、数週間前には近隣小学校の本への取り組みをロビー展示として実施した。各学校の様子を一気に見られる機会は滅多にないので、自分の学校以外の様子を知れる良い機会となった。自分が書いた作品を見に初めてセンターを訪れた親子もいて、センターの周知にも繋がった。

▼厚西シニアカレッジは、1期生・2期生がそれぞれに活動し、交流会も実施した。特に1期生は自主活動も積極的に行い、麻雀のサークルを立上げ貸室利用にも繋がった。それぞれがカレッジ以外にも個人個人で積極的に講座等参加している。70代・80代になってこんなに仲良くできる友達が出来ると思っていたと、シニアカレッジに参加して良かったとの声を多くもらった。

＜地域交流事業＞
厚西シニアカレッジは人気も高く、地域の高齢者のニーズに応じており、貸室利用にも繋がっている。その他の事業についても達成率が100%を超えているものが多く、市民に好評であり、要求水準を達成している。

▽地域の憩いの場づくり活用事業

	令和6年度計画	令和6年度実施
種 目	7	9
回 数	498	460
参加人数		2,650

種目	実施日総数	総時間	利用実数
ミニバレー	4	12	0
バドミントン	18	72	134
バスケットボール	20	64	253
卓球	22	67	180
ウォーキング	18	53	1
囲碁・将棋	20	60	124
ロビー開放 (一般)	176	2,112	1,618
ロビー開放 (自主学習)	176	2,112	340

▼ミニバレーは昨年度から利用がほぼなかった為、6月から種目をウォーキングに変更した。悪天候時や夜道を歩くのが不安な方も安心して歩けるようにとに設定したが、継続利用には至らなかった。

▼ロビー開放も統計対象となつたため、10月より集計を開始した。時間区分ごとに職員が目視で利用内容を確認し、一般利用と学習利用に分けて集計している。

▼引き続き定期的に種目や時間枠の入れ替えを行い、一部の特定利用とならないよう幅広い層に平等に利用してもらえよう随時見直しを図っていく。

＜憩いの場づくり施設活用事業＞
特定の団体の独占利用への対策を講じるなど、平等利用に努めている。種目変更等の工夫も行っており、要求水準を達成している。

▽図書業務

	令和5年度	令和6年度	増減
開室日数	281	280	-1
貸出数	74,755	74,090	-665
返却数	75,469	74,943	-526
レファレンス件数	655	553	-102

月	テーマ	開催期間
4	(児童)家族 (一般)能登(石川県)に心を寄せて	3月23日～4月25日
5	(児童)絵本から児童書へ (一般)家庭菜園&ガーデニング	4月27日～5月23日
6	(児童)日本の昔話・外国の昔話 (一般)音楽	5月25日～6月21日
7	(児童)水中・水辺の生きもの (一般)さっぱり・あっさり・涼やか	6月29日～7月25日
8	(児童)おばけ・こわい話 (一般)怖い話	7月27日～8月22日
9	(児童)秋だ！クッキング (一般)カラダに良いこと	8月24日～9月26日
10	(児童)空を見上げて (一般)〇〇の秋	9月28日～10月24日
11	(児童)図書・おまつり、えほんでしりと (一般)図書館に・・・	10月26日～11月30日
12	(児童)冬・クリスマス (一般)冬・クリスマス	12月1日～12月28日
1	(児童)冬・作ろう (一般)賢く・無理なく節約	1月4日～1月23日
2	(児童)鬼・スイーツ (一般)2・2・2猫の日	1月25日～2月28日
3	(児童)色の本・カラフルな本 (一般)建築とインテリア	3月1日～3月27日

▼月に1度のミーティングで情報共有や、利用促進への取組についての話し合いを重ね、展示や掲示物など利用者の方が来室する度に目新しいものと出会う工夫を凝らした。

▼図書協議会を中心に「図書まつり」を開催した。様々な角度から本への興味を引き出そうと、多様なブースを用意し、多くのボランティアさんにもご協力いただいた。当日は多くの貸出があり、図書室利用へと繋ぐことが出来た。予約必須など当日の混乱を避ける工夫をした上で、予約不可でも参加できる場所も用意するなど、より多くの方が気軽に参加出来る様配慮した。ボランティア側で参加した方々からも、楽しめたという声を沢山いただいた。今後も継続して開催していきたい。

▼お仕事体験は、応募が多数あるため枠や回数を増やして実施した。体験者である小学生と利用者の方との交流や、図書室の配架や本についてなど、知識と興味を深める良い機会となっている。

＜図書館業務＞
様々な工夫を行ったうえで事業を実施しており、利用促進に取り組んでいるため、要求水準を達成している。

▽ 生涯学習に関する市民の自主活動及び交流の支援業務 ▼シニアカレッジ受講生は、カレッジの活動以外にも自分達で音楽鑑賞会やボーリング大会、動物園見学など様々な自主活動を行っている。また、麻雀サークルを立上げ、生徒がそれぞれ講師や生徒となり毎週麻雀を楽しんでいる。積極的に勧誘し、シニアカレッジ以外の方も参加するようになって、交流の輪も広がっている。れぞれが興味のある講座に参加するなど、個人でも活動の幅も広がっている。	▼シニアカレッジで初めてセンターに来た方も多く、1ヶ所で色々な事に参加出来るのがとても良い！と、入学当初より生き生きとした表情が見られる。カレッジの活動を通して、新たな趣味の発見や友達が出来た事で本当におかげで楽しみが出来て毎日楽しく過ごせている。今まで別々の趣味だったが、初めて夫婦で一緒に行動するようになり自分でも驚いているとの声もあった。	＜支援業務＞ 事業を通して、地域住民の自主活動及び交流に繋げており、適切な支援を行っている。
▽ 地域相談業務 ▼介護予防や包括支援センターと連携をはかり、地域の気になる高齢者の情報を共有し、地域全体で見守れるよう連携した。 ▼支援が必要な高齢者に、フードドライブの食品を提供した。 ▼働き方改革で学校でのPTA活動が縮小している為、学校では保護者主体のイベント実施が難しいとの相談を受けた。センターでのイベント開催に向け、検討していく。 ▼体調を崩し音楽活動を休止しているが、体調が戻ったら演奏の機会を与えて欲しいとの相談があった。 ▼社協より支え合い担い手候補探しに意見をもらえないかと相談を受け、厚別区生活支援推進連絡会へ参加し、厚西シニアカレッジについて発言した。 ▼令和6年5月12日に開催された厚別西厚信会総会の中で、幼稚園から帰宅後の幼児の居場所が欲しいとの意見を受け、子育てサロンキラキラひろばへ情報を共有し、令和7年4月より週3日開催から週5日開催(内午後開室日あり)へ繋ぐ事ができた。 ▼町内会(厚信会)より、役員の高齢化やボランティア不足のため、町内主催の行事のお手伝いをお願いできないかとの協力要請があり、運動会やおまつりへ協力した。 ▼学生より、居場所についての相談があった。	▼軽度の認知症と見受けられる利用者さんなどは職員間や包括などと連携を取り、見守り体制を強化した。靴のはき間違えなどもあったが、注視していた事で帰宅前に対処する事ができた。 ▼どのような相談にもまずは傾聴し、必要に応じて行政へつなぐなど適切な対応を行った。 ▼聞いてもらえるという安心感を重視し、寄り添った対応を心がけた。	＜地域相談業務＞ 地域住民に寄り添った対応を行っている。

(5)施設利用
に関する業
務

▽ 利用件数等

		R5年度実績	R6年度計画	R6年度実績
ホール	件数(件)	947	1,079	912
	人数(人)	16,810		19,072
	稼働率(%)	69.7%		69.6%
和室	件数(件)	1,080	668	1,093
	人数(人)	8,399		8,232
	稼働率(%)	51.1%		52.6%
集会室	件数(件)	1,156	1,052	1,167
	人数(人)	13,870		14,655
	稼働率(%)	52.3%		54.2%
実習室	件数(件)	458	482	485
	人数(人)	3,182		3,168
	稼働率(%)	41.2%		43.9%
計	件数(件)	3,641	2,787	3,657
	人数(人)	42,261		45,127
	稼働率(%)	53.0%		54.5%

▽ 不承認0件、取消し8件、減免0件、還付0件

▽ 利用促進の取組

- ▼貸室利用に繋がる講座の企画
- ▼利用条件緩和措置の周知(時間貸し利用)
- ▼センターだよりでの周知
- ▼HPでの空き室情報提供
- ▼来館者にサークル案内し、講座は縮小したチラシを手渡しして声をかけている。
- ▼問い合わせに対し、丁寧に対応し利用目的を聞いた上で、それに合わせた空き室状況を伝え、必要に応じて1階に配置してある備品を2階に上げるなど柔軟な対応を心がけた。
- ▼利用者からの強い要望をうけ、自主事業での利用者還元として和室に簡易エアコンを設置した。前年度の夏季に比べ、和室の利用率は増加した。

▼全体を通して、計画を上回る結果となった。特に冬場は外の競技の利用が増える他、学校の体育館が使えない高校生の部活利用や、新規登録が非常に多く、11月12月の2ヵ月間で利用料収入が前年度に比べ30万円以上増収した。団体利用の場合は車を奥に縦列に詰めて駐車するなど協力していただき、他の利用者の方々へも配慮した。和室に簡易エアコンを設置したことで、夏場の和室利用も前年度に比べ増やすことができた。

A	B	C	D
環境整備等により、利用促進に努めている。昨年度よりも件数・人数・稼働率のいずれも増加している。			

▼ピラティスとズンバが講座からサークルへと繋がった。ズンバは月2回ホール全面、ピラティスは毎週利用なので、貸室利用への貢献となった。

(6)付随業務	▽ 広報業務 ▼厚別西センターだより～年12回発行 ▼厚別西地区連合町内会の回覧 ▼「広報さっぽろ」と冊子「札幌市からのお知らせ」ほか地域新聞「ふりっぱー」にて、講座・地域交流事業の案内を掲載 ▼地域のミニコミ誌(れじおん、とらいふる、まんまる新聞)に掲載してPR。(とらいふるは現在は休刊中) ▼ホームページにて講座・事業のお知らせ。施設開放事業の中止、実施時間の変更等、最新情報を随時更新。 ウェブアクセシビリティへの取り組みとして、目の不自由な方への音声読み上げに支障がないよう、写真には補足説明を入れたり、曜日は省略しないで記載。また、文字の間にスペースを入れないように注意している。色弱の方も見やすいように色のコントラストにも注意し、見やすいような配色を心掛けている。 ▼インターネットシステムにて空き状況を確認する事ができる。 ▼館内掲示 センターだより、サークル紹介、各講座案内ポスター、札幌市の施策に関わる情報の掲載 ▼玄関ホールとロビー及び2階に掲示板にて講座、地域交流事業、図書室のお知らせ、地域の活動や官公庁主催、共催、後援事業の、近隣スポーツ少年団の団員募集ポスター、近隣学校の学校祭等のお知らせポスターなどを掲示している。 ▼ロビーに、サークル活動及び営利事業教室等の掲示版を設置。音楽、文学、こども関連、ボランティア、行政関係等コミュニティ活動及び生涯学習活動情報を掲出している。 ▽ 引継ぎ業務 (前回から継続指定のため、引継業務なし)	▼HPIは更新できる職員を増やし、常に最新の情報を提供できるよう心掛けた。またブログの更新頻度を上げ、講座や地域交流事業などセンターでの取り組みを知ってもらえるよう活動の写真を載せて伝える事を積極的に取り組んだ。掲載の際には利用者の方の顔は映らないよう配慮した。 ▼町内回覧板は回覧回数が減っている為、回覧時期に合わせてセンターだよりを発行し、申込日や開催日までに情報がいきわたる様に配慮した。 ▼ウェブアクセシビリティ取組確認・評価表を公開した。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 仕様書に定めるとおり適正に実施されている。	A	B	C	D				
A	B	C	D								
2 自主事業その他											
▽ 自主事業 ▼ 古紙回収等自主事業 令和6年度 古紙回収収益 147,370円(古紙奨励金77,000円含む) 自動販売機 64,035円 ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼夜間警備業務、電気設備点検、防災設備点検、空調設備、自動ドア点検、除排雪、エレベーター保守点検の第三者委託は市内企業に委託している。▼地域の福祉施設2か所より月2回のパン販売を実施し、交流事業時も販売をお願いしている。	▼自主事業収入は利用者から要望が多かった和室への簡易エアコンを設置する事で還元した。また、集会室の交換していなかった部分の絨毯も交換した。 ▼通常の販売の他、フリマや文化祭にもB型事業所へ委託し、販売の機会を増やせるよう努めた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D					いずれも適正に実施されており、要求水準を達成している。
A	B	C	D								

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	▼実施期間 令和6年11月1日～11月31日 ▼設問数16 全対象者に対して同一質問で実施 ▼配布部数枚 390 部 回収部数 351 枚 回収率 90.0%	▼例年2月に行っていたが、冬期間来ないサークルや日数が2月は少ない事から実施時期を見直した。	A B C D
結果概要	①駐車場が狭い、使いづらい(15件) ①駐車場の通路に停めるのは危ない(壁面縦列駐車) ②臨時駐車場が使えるなら看板で掲示してほしい ③全て洋式トイレにしてほしい ④トイレにスリッパがほしい ⑤手拭き用のペーパータオルがほしい ⑥2F男子トイレが使えない(2件) ⑦部屋が寒い(2件) ⑦暖房・冷房をしっかりと入れて欲しい ⑧体育館の床が滑る(2件)・床が古い ⑨体育館の備品(バレーボール用等)が古い(7件) ⑩体育館にエアコンの設置 ⑪簡易型ではないエアコンの設置 ⑫ゴミ箱の設置 ⑬和室に椅子用の机がほしい ⑭無料開放を昼間にしてほしい ⑮囲碁・将棋開放をふやしてほしい ⑯利用者が鍵の開閉をするのはおかしい ⑰会場が、設営当日に変更になっていた ⑱以前から利用しているのに新しいサークルにより利用できなくなっている ⑲図書室の読書コーナーに仕切りの設置 ⑳図書室に小学生向けのライトノベルを増やしてほしい ㉑絵本の置き方がよく考えられ、子どもにとって選びやすい ㉒シニアカレッジに多くの人に参加してほしい ㉓面白い講座やお知らせがあって楽しい ㉔部屋にカーペット用クリーナーがあるので掃除できて良い ㉕運営面、清掃面、職員の態度非常に良い ㉖親切で言葉遣いも良い(10件)	▼バスの値上がりや減便による影響で、今期は駐車場への要望が多くあった。利便性が良い場所ではないので、バスが減ると影響が大きい。時間に合うバスがなくなり来れなくなった方もいる。車で来る方が増えた事と高齢者が多いので狭い駐車場で危ない場面も見られる。注意喚起をしても、勝手に近隣企業等の駐車場に停める方がいるので見つけた際には移動をお願いしている。貸室利用が増え、満室の日も増えており、ありがたい反面、駐車場は深刻な課題となっている。 ▼職員対応に関する褒めの言葉も多かった。今後も気を引き締めて、利用者の方に寄り添った対応を心掛ける。	接客、区民講座、清掃状況等において利用者から高い評価を得ており、また利用したいという方が95%を超えており、要求水準を大きく超えて達成している。

利用者からの意見・要望とその対応	①限られたスペースの為ご迷惑をおかけしておりますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。 ②臨時駐車場使用できる日は、入り口に看板を立てますのでご確認ください。 ③洋式トイレへの変更は大掛かりな工事となるため、検討にお時間をいただきます。 ④冬場はブーツ等で履き替えが面倒な事や、靴の履き間違えも多い事から現時点では設置は検討してございません。 ⑤トイレ備品につきましては、衛生面上を考慮し検討させていただきます。 ⑥大変ご不便をおかけし申し訳ございませんでした。修理が完了いたしましたので、ご利用いただけます。 ⑦各部屋で暖房調整ができるようになっておりますので、ご確認をお願いいたします。 ⑧定期的にワックス清掃が入っております。塗りたてのころは滑るので、雑巾拭きなどで対応していただいております。 ⑨利用頻度や状態に応じ、随時購入を検討して参ります。 ⑩体育館にエアコンの設置は大掛かりな工事になるため検討にお時間をいただきます。 ⑪建物の構造上、大掛かりな工事になりますので簡易エアコンで対処しております。ご理解の程よろしくお願い申し上げます。 ⑫衛生上・防犯上の理由で設置しておりません。必要に応じてごみ袋をお渡ししますので事務所にお申し付けください。 ⑬和室にもテーブル式机5台ありますので、ご利用ください。 ⑭無料開放は、有料利用の方に弊害がないよう空き時間や曜日を調整してございます。何卒、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。 ⑮無料開放は、様々な種目で幅広い方に施設利用と憩いの場の提供を目的としており、偏った種目だけ増やすことは出来ませんのでご理解の程よろしくお願い申し上げます。 ⑯貴重品管理の理由で、利用者様に開閉をお願いしてございます。何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます。 ⑰予約が確定している部屋を許可なく変更することはありませんが、講座や地域交流事業に関しましては貸室希望状況に応じ稀に変更する事がございます。その場合は速やかに案内を周知するよう徹底いたします。 ⑱講座や地域交流事業に関しましては、定期利用の貸室利用の皆様には支障がないよう予定を組むようにはしておりますが、稀にご迷惑をおかけする場合には事前にお知らせするようにしております。何卒、ご理解・ご協力の程お願い申し上げます。 ⑲読書スペースは狭く、ご家族でのご利用も多い為現時点では設置の予定はございません。何卒、ご理解の程お願い申し上げます。 ⑳児童書の購入枠は月に2冊程度しかなく、その中で絵本から調べもの、読み物を偏りがないよう発注しております。今後の参考にさせていただきます。 ㉑ありがとうございます。今後も皆様に快くご利用いただけるよう努めてまいります。 ㉒今後も、周知活動を更に徹底して参ります。 ㉓ありがとうございます。たくさんの方に楽しんでいただけるような様々な企画に取り組んでまいります。 ㉔いつも綺麗にご利用いただきありがとうございます。 ㉕ありがとうございます。今後も皆様に快くご利用いただけるよう努めてまいります。	▼利用者の中には足が不自由な方や目の不自由な方もいるため和式トイレは使用が困難な方もいる。男性トイレは2階に多目的も洋式もないためご不便をおかけしている。大掛かりな改修にはなるが、数年前から要望としてあげている。今後も引き続き要望としてあげていきたい。 ▼運営協議会の中で、昨今の暑さは命に関わるので、駐車場も問題だが利用者の方が安全安心して利用できるよう人命に関わる事は早急に対応してもらわないとならないと思うと、エアコン設置について町内会長よりご意見があった。まだマスクを使用している方も多く、高齢の方は暑さを感じづらい事もあるようなので心配な面も多いので、こちらも引き続き要望としてあげていきたい。
-------------------------	---	--

▼結果概要(各項目の満足度目標:80%)

▼積極(Q.職員の言葉づかいや接客対応はいかがですか?)

回 答	回答数	比率%
①とても良い	243	70%
②良い	78	23%
③普通	25	7%
④あまり良くない	0	0%
⑤悪い	0	0%

▼良い以上の数値が93%と、目標80%を上回った。清掃・日勤・夜間と職員全員が常に利用者の方に寄り添った対応を心掛けている。今後も徹底していく。

▼図書事業(Q. 図書室を日頃どの位利用になっっていますか?)

回 答	回答数	比率%
①週数回	24	7%
②月数回	99	30%
③ほとんど利用しない	211	63%

▼センター利用者の方と図書利用の方の住み分けが出来てしまっているのを、相互利用していただけるよう周知や互いの利用に繋がるような事業を検討していく。

▼貸室事業(Q. 集会室、和室、ホール、図書室、ロビー、トイレなどの備品や設備等の管理状態はいかがですか?)

回 答	回答数	比率%
①とても良い	151	46%
②良い	112	34%
③普通	54	16%
④あまり良くない	9	3%
⑤悪い	3	1%

▼築30年を超え、備品や設備の劣化や不具合が増えてきている。こまめな点検や修繕は心がけているものの経年劣化が目立つ部分もある。利用者の方の安全を第一に管理を継続していく。

▼区民講座(Q. 受講した講座はいかがでしたか?)

回 答	回答数	比率%
①とても良い	118	64%
②良い	56	31%
③普通	8	4%
④あまり良くなかった	2	1%
⑤良くなかった	0	0%

▼R6年度は2講座がサークルへと繋がった。目新しい内容も取り入れつつ、利用者の方からのリクエストや毎年恒例の人気講座も実施し、内容に偏りなく様々な層が楽しめるような講座を実施した。

▼交通手段(Q. センター利用の際の交通手段は何ですか?)

回 答	回答数	比率%
①自動車	229	57%
②公共交通機関	14	3%
③自転車	34	8%
④徒歩	124	31%
⑤その他	3	1%

▼バスの減便により、活動時間に合うものがなく来れなくなったという声もあった。駐車場が狭いため、乗り合わせ等をお願いしている。貸室利用が増えている半面、駐車場問題は深刻化している。

▼清掃(Q. 館内の清掃状況についてお聞きします)

回 答	回答数	比率%
①とても良い	213	63%
②良い	91	27%
③普通	32	9%
④あまり良くない	2	1%
⑤悪い	0	0%

▼利用人数が多い日はトイレや館内外の見回り回数を増やし汚れている場合は速やかに清掃するよう心がけた。毎朝、職員も掃き掃除や花の水やりをして館外整備も行った。

▼また、厚別西地区センターをご利用したいと思いますか？

回 答	回答数	比率%
①ぜひ利用したい	193	57%
②利用したい	115	34%
③どちらかといえば利用したい	15	5%
④どちらでもない	12	4%
⑤利用したくない	1	0%

▼利用したい方が95%と、目標80%を大きく上回ることが出来た。今後も、また来たいと思われる施設を目指していく。

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R6年度計画	R6年度決算	差(決算-計画)
収入	35,277	37,763	2,486
指定管理業務収入	35,094	37,552	2,458
指定管理費	26,528	26,985	457
利用料金	7,471	8,985	1,514
その他	1,095	1,582	487
自主事業収入	183	211	28
支出	36,122	37,551	1,429
指定管理業務支出	35,267	37,551	2,284
自主事業支出	10	211	201
収入-支出	▲ 845	212	1,057
自主事業による利益還元	183	211	
法人税等			0
純利益	10	211	201

【参考】	R6年度決算	内容
指定管理業務による利益還元	0	下記のとおり

▼除雪費用など外注費の値上がりがあるものの、行事の見直しや仕様書から逸脱しない範囲での人員配置の見直し等で、支出は最小限にとどめる様努めた。
▼剪定など高額な費用がかかるものは一部を職員やボランティアが担い、経費削減に努めた。
▼指定管理費は、光熱費補填と賃金スライド手当が入ったことにより増収となった。その他の収入も計画よりすべて上回る事ができた。

A	B	C	D
貸室利用等による収入が大きく増えている。また、利益還元や経費削減に努めており、適切に管理運営を行っている。			

▽ 説明

▼貸室利用料、その他収入、自主事業収入すべてにおいて前年度を上回る事が出来た。講座からサークル活動へ繋げるなど、貸室利用率をあげられるよう積極的に取り組んだ。
▼受講料や参加費は基本的には廉価な金額設定としているものの、物価高騰による影響を受け、一部金額を見直す事で充実した内容の講座やイベントを提供できるように調整した。
▼外注費や人件費の高騰を受け、高価な剪定は出来る限り職員やボランティアの協力でを行い、優先度をつけながら一部実施するなど支出をおさえる様努めた。
▼自主事業は利用者の声から優先度を検討し、和室のエアコン設置やブラインド購入などで全て還元した。

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。			
▽ 安定経営能力の維持 ▼労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団は、全国に拠点を 持つ協同経営の組織であるため、単独の事業所・現場の経営だけではなく、 相互に安定経営を維持できるように連携しており改善も行なっている。		適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及 び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼個人情報について市の条例及び法人の個人情報保護法規定通り適 切に処理した。 ▼情報公開について開示要求があった場合は速やかに応じると共に行 政手続き条例及びオンブズマン条例についても条例に従い適切に対応処 理する。 ▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団 員や暴力団関係者を相手に契約を行わなかった。		適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
1) 統括管理業務 設置目的にもある「住民の自主的な活動の促進」に関し、 厚西シニアカレッジへの参加をきっかけに自主的にサークル を立上げ、貸室を利用した自主活動へ繋げる事が出来た。 講師もカレッジの受講生が担っている。また、積極的な 勧誘によりカレッジ以外の参加者も増やし、生涯学習の 普及振興を自ら担った。参加意欲醸成及び担手育成へ貢 献できた。 2) 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上 ハラスメント研修や個人面談、健康診断やストレスチェック などを実施し、職員が心身共に健全でいられる労働環境を 整えた。 3) 施設・設備等の維持管理業務 利用者の安全確保の為、警察に協力を仰ぎ職員の実践を 交えた防犯訓練を実施し、館内の防犯対策も強化した。倒 木の恐れがある木の伐採等館内外の安全維持管理に努 めた。 4) 事業の計画・実施業務 参加者の年代や人数に合わせて内容を綿密に計画したこ とで、満足度・理解度共に高い評価を得る事ができた。利 用者からの要望に応えられるような講座を都度計画・実施 した。 5) 施設利用に関する業務 積極的な貸室利用への働きかけにより、稼働率を前年度 より1.5%上昇させることができた。 6) 付随業務 地域広報誌の休止や掲載枠の減少により広報活動の幅 が狭まってきているため、HPの充実や告知時期を早める などして周知活動について改善を試みた。 7) その他 地域との繋がりを広める為、積極的に町内活動への協力 や参加、広報活動などを積極的に行った。各団体とも連携 し、利用者や地域の方への見守り体制の連携や、健康促 進への取組強化などを実施することができた。	▼施設の効用を最大限発揮し、地域住民が集う地域コミュニ ティ形成の場として役割を全うする。 (地域住民が主体となった活動への協力・機会の提供) ▼まちづくり講座などを積極的に開催し、地域社会の絆を強 化し、地域全体で安心できるまちづくりを目指す。 (地域全体で見守り、安心して子育てができる地域づくりを目 指す取組や関心を促すきっかけづくりなど) ▼住民相互の関係性の希薄解消の為、様々な取組や声掛 けで参画してもらえるような働きかけを行っていく。 (ボランティア活動への参加推進や、あつべつ西紙袋ラン ターン実行委員会への加入勧誘などで地域活動への参加を 促す) ▼施設利用促進に向け、幅広く様々な取組を実施していく。 (多世代向けの幅広い内容を多種企画し、施設に足を運ん でもらうきっかけを多く設ける。そこから利用へと繋げる。親 身になった対応を心掛け、利用者に寄り添い、要望にあった 利用の方法の提案や丁寧な説明で、利用しなくなる施設を 目指す。)

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
区民講座や地域交流事業においては市民のニーズに応えた事業を行っており、利用者から高い評価を得ている。特に厚西シニアカレッジは、生涯学習に関する市民の自主活動や交流に繋がっており、適切な支援を行っているといえる。引き続き、市民のニーズに沿った取り組みを実施し、施設稼働率の向上に取り組んでいただきたい。	引き続き、新規利用者の獲得及び継続性のある利用に繋がるような取り組みを検討・実施していただきたい。